

平成30年度栃木県養護教育研修会開催 (467名参加)

期 日 平成30年10月4日(木)
会 場 栃木県総合文化センター大ホール



1 会長あいさつ 栃木県養護教育研究会会長 渡邊 恵美子

2 来賓あいさつ 栃木県教育委員会事務局 学校安全課長 伊澤 純一様

3 研究発表

(1) 「児童生徒の健康教育への実践力を育むために
～養護教諭が関わる保健指導の実践～」

発表者 野木町立佐川野小学校 川村 陽子 先生
野木町立野木中学校 渡邊 典子 先生



(2) 「6年間を見通し、教科との関連を考慮した
効果的な性に関する指導を目指して」

発表者 佐野市立氷室小学校 石山 順子 先生
佐野市立赤見小学校 関田 晴香 先生

4 指導・助言

(1) 「野木町教育研究会養護教諭部会の取組について」

栃木県教育委員会事務局学校安全課 副主幹 小平 亨子 先生

野木町教育研究会養護教諭部会では、養護教諭の専門性をどう生かすかに注目して研究を進め、行政等の関係機関や家庭と連携した保健指導等を実践されました。今後も、養護教諭の専門性を十分に生かし、学校保健のさらなる充実を図っていただくことを期待します。

(2) 「佐野市養護教諭部会の取組について」

栃木県総合教育センター指導主事 山口 昌子 先生

佐野市養護教諭部会では、系統的で効果的な性に関する指導の進め方や、指導方法の工夫改善策を研究されました。様々な場面で、すべての学年に関われるという養護教諭の特性を生かし、教科等との連携を図りながら進められた点も、大きな成果を生み出す大切な視点であったと思います。

5 小平副主幹からの連絡(配布資料参照)

6 内地留学報告

セクシャルマイノリティーの支援について

～養護教諭が発信する「健康問題」としての性の多様性～

宇都宮市立横川中学校 阿由葉 克子 先生

7 講演「虐待問題の見立てと対応」

～子どもの虐待の本当の理由を理解する～

講師 あさくさばしファミリーカウンセリングルーム 室長 野口 洋一 先生

○虐待問題の一般的な理解には、数多くの誤解がある。

→虐待は「普通」の家庭では決して起こらない。

→「本当の」うつ病が、虐待に結びつくことは稀である。

→虐待は、世代間の心理的連鎖はない。

○虐待があるから、愛着関係が形成されないのではない。愛着関係が不成立だから、虐待が生じるのである。

○信頼できる大人に出会うと、虐待を受けている子のその後の人生

が変わる。子どもたちが社会に出て行く前に、養護教諭の先生方は、目の前にいる子に寄り添い、抱えている問題と関係者と連携し、できる関わりを精一杯してあげてほしい。



今回の研修当番地区は那須地区でした。御協力を頂き、ありがとうございました。

